

はじめに

この度の東日本大震災で被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2004年から2007年にかけて、新潟は7.13水害・中越地震・中越沖地震という3つの災害に立て続けに遭遇しました。これらの3つの災害でも計5,500戸の仮設住宅が建設され、沢山の人が暫定的で不自由な生活をする事になりました。

私たち新潟大学工学部岩佐研究室では、同じ新潟に住むものとして何か出来ないかと考え、「仮設 de 仮設カフェ」というプロジェクトを実施しました。ここで紹介するのは、プロジェクトを通して、当時の仮設住宅にお住まいになっている方々からお教え頂いた「仮設の知恵」です。中越の被災者はのっぺりした建物がずらっと並ぶ仮設住宅に少しずつ手を加え、住みやすい環境に作り替えていきました。

この度の被災地は新潟と同じ寒冷地です。中越の先人たちの「仮設の知恵」は、きっと皆様にも参考になる点が多いと思います。仮設住宅での暮らしを少しでも快適なものとするための一助となれば幸いです。

新潟大学工学部岩佐研究室一同



中越地震時の仮設住宅の様子